

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-07		
施設名	土木管理事務所				
所在地	東日暮里三丁目7番17号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成元年	101,450	国・都	区債
	増改築①				一般財源
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	平成 2年 3月31日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成 2年 4月 1日		職員数	2	0
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積	467㎡			
	延床面積	360㎡			
設置目的・経緯	道路・公園等の維持管理作業を行う作業員の詰所として設置。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	—	期間	—	から	
事業内容	道路及び公園等の維持補修					
対象者	土木管理事務所職員					
運営時間等	運営時間	—				
	休日	—				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
に指定管理に係る費用等						
備考						

**III 財務諸表**

(単位:千円)

勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	14,972	11,537	▲ 3,435	地方税等	0	0	0
	物件費	2,980	2,381	▲ 599	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	518	531	13	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	76	76	0	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	753	1,796	1,043	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 19,299	▲ 16,321	2,978
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	19,299	16,321	▲ 2,978	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 19,299	▲ 16,321	2,978
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 19,299	▲ 16,321	2,978	
貸借対照表	流動資産				勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	753	687	▲ 66
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	449,619	449,619	0	賞与引当金	753	687	▲ 66
	土地	449,619	449,619	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	101,450	101,450	0	固定負債	10,993	8,668	▲ 2,325
	建物減価償却累計額	▲ 101,450	▲ 101,450	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	5,083	5,083	0	退職給与引当金	10,993	8,668	▲ 2,325
	工作物等減価償却累計額	▲ 5,083	▲ 5,083	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	11,746	9,355	▲ 2,391	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	437,873	440,264	2,391	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	437,873	440,264	2,391	
資産の部合計	449,619	449,619	0	負債及び正味財産の部合計	449,619	449,619	0	
備考	行政費用では、給与関係費が主たる支出である。 行政費用の物件費は、主に光熱水費やホイールローダー等の賃借料である。 行政費用の維持補修費は、事務所内の照明器具交換等に係る費用である。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	122,033	69,272	53,608	45,336	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有    (計画名: _____)					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( _____ )					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: _____) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	道路及び公園等の維持補修を行う作業員の詰所として、必要不可欠である。					
現状・課題	<p>○道路及び公園等の維持管理業務委託を請け負っている事業者4社の作業員の詰所兼、作業場所、材料・建設機械・道具置場として、また、災害対策活動や水防活動に従事する職員の待機場所として不可欠であるが、築30年以上が経過し、施設内の各設備の老朽化が進行している。</p> <p>○公共インフラの老朽化が急速に進行するとともに、気候変動によるゲリラ豪雨や大型台風の襲来頻度が増加する中、現場対応を行う前線基地である土木管理事務所の役割は拡大している。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○施設の機能・性能保全に努めていく。</p> <p>○土木管理事務所のほか、区内には資機材を保管している施設が複数あることから、各施設の移転統合などについても検討していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-03-06		
施設名	自転車置場				
所在地	南千住二丁目34番ほか（全11か所）				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	—			
	増改築①				
併設施設	—				
竣工年月日	昭和58年3月ほか		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和58年4月ほか		職員数	0 <small>（置場整理員あり）</small>	
構造	—		階層	—	
面積	敷地面積	3,338㎡（全11か所）			㎡
	延床面積	—			床無 ㎡
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。				
関連部署	—				
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	—	期間	—	から まで	
事業内容	自転車等利用者の利便性向上及び良好な生活環境の向上を図るため設置・管理を行う。 ・登録手数料 区内3,300円、区外6,600円（年度登録） ・自転車置場整理員（委託） 朝7時～9時					
対象者	区民、近隣区の自転車利用者					
運営時間等	運営時間	—				
	休日	—				
施設基本データ等	置場利用登録者数（人）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）
	登録手数料（千円）	3,695	3,568	3,525	3,439	3,500
		12,689	12,593	12,870	13,088	13,500
に指定 に係る 管理 費用等						
備考	自転車置場を利用する前年度に登録手数料を納付している利用者が多いため、登録者数と登録手数料は一致しない。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

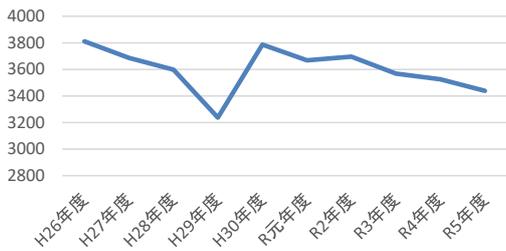
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	12,966	14,050	1,084	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	306	294	▲12	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	12,870	13,088	218
	減価償却費	0	0	0	その他	1,439	1,439	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	14,309	14,527	218
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	1,037	183	▲854
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	13,272	14,344	1,072	通常収支差額(c)+(d)=(e)	1,037	183	▲854
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	1,037	183	▲854	
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	41,970	41,970	0	賞与引当金	0	0	0
	土地	41,970	41,970	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	40,254	40,254	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲40,254	▲40,254	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	41,970	41,970	0	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	41,970	41,970	0	
資産の部合計	41,970	41,970	0	負債及び正味財産の部合計	41,970	41,970	0	
備考	行政費用の物件費は、自転車置場整理業務委託費等である。また、維持補修費は、自転車置場設備の修繕費である。行政収入の使用料及び手数料は、自転車置場登録手数料であり、その他は、西日暮里自転車置場に係る放置自転車対策協力金である。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	4,445	3,543	3,976	4,297	
	受益者負担率(%)	86	107	97.0	91.2	
	利用登録者1人当たりコスト(円)	4,015	3,315	3,765	4,171	
備考	令和3年度は、コロナ禍により自転車置場整理業務委託の業務時間を縮小したことに伴い、全体的にコストが減少し、受益者負担率が高くなっている。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

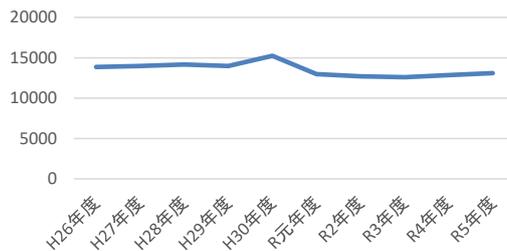
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	置場登録者数(人)	目標値 3,800	3,700	3,700		
施設運営の方向性	● 現状維持 ○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	駅圏内に低料金で駐輪できる施設であり、利用率は高い。					
現状・課題	○自転車置場は低料金で24時間利用可能であることから、登録者数は高い状況にあり、一部の自転車置場については、定員を超える申し込みがある。 ○自転車置場の登録事務については区直営にて行っている。職員の事務負担が大きいに加えて、利用者も金融機関窓口での振込など負担が大きいため、改善が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○自転車置場の登録事務については、指定管理業務へ入れる方法、民間事業者との連携による方法、あるいは区窓口で現金納付とするか電子申請で受け付ける方法等を検討していく必要がある。					
議会、利用者等からの意見	○平成26年度11月会議 京成高架下の有効活用について ○令和元年6月会議 赤土小学校前駅への自転車一時置場の設置について					

置場利用登録者数(人)



置場利用登録者数については、概ね横ばいの状態である。

登録手数料(千円)



登録手数料についても、概ね横ばいの状態である。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-03-07			
施設名	自転車保管場所					
所在地	西日暮里一丁目6番					
部課名	防災都市づくり部土木管理課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成2年1月	3,500	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設	-					
竣工年月日	平成2年1月		区職員	その他		
供用開始年月日	平成2年 1月16日		職員数	0	5	
構造	プレハブ		階層	1階		
面積	敷地面積		1,037㎡			
	延床面積		10.64㎡			
設置目的・経緯	撤去した自転車等の保管、返還のため。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input checked="" type="radio"/> スロープ		



**II 管理運営の状況**

管理形態	委託	株式会社フェニックス	期間	令和6年4月1日 令和7年3月31日	から まで	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>撤去自転車等の受入れ業務</li> <li>返還業務</li> <li>その他</li> <li>保管業務</li> <li>撤去費用受領業務</li> </ul>					
対象者	撤去自転車の所有者					
運営時間等	運営時間	11時～20時				
	休日	祝日、年末年始(土日開場)				
施設基本データ等	延べ保管台数(撤去台数)(台/年)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
		2,666	2,922	3,868	3,540	3,400
	放置自転車台数(台/日)	608	425	337	296	250
に指定管理に係る費用等						
備考	放置台数は、晴天の日中における駅周辺の放置自転車の台数を調査したものである。					

**III 財務諸表**

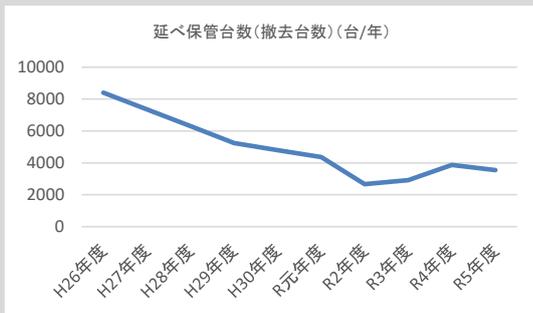
(単位:千円)

勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	22,928	20,976	▲ 1,952	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	160	160	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	7,473	7,800	327
	減価償却費	0	0	0	その他	2,311	4,472	2,161
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,784	12,272	2,488
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 13,304	▲ 8,864	4,440
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	23,088	21,136	▲ 1,952	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 13,304	▲ 8,864	4,440
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 13,304	▲ 8,864	4,440	
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	280,891	280,891	0	賞与引当金	0	0	0
	土地	280,891	280,891	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	3,500	3,500	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 3,500	▲ 3,500	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	22,203	22,203	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 22,203	▲ 22,203	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	280,891	280,891	0	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	280,891	280,891	0	
資産の部合計	280,891	280,891	0	負債及び正味財産の部合計	280,891	280,891	0	
備考	行政費用の物件費は、自転車保管場所管理返還業務委託費及び三河島自転車保管場所借地料等である。 行政収入の使用料及び手数料は、放置自転車撤去手数料であり、その他は、放置自転車売却代金収入である。							

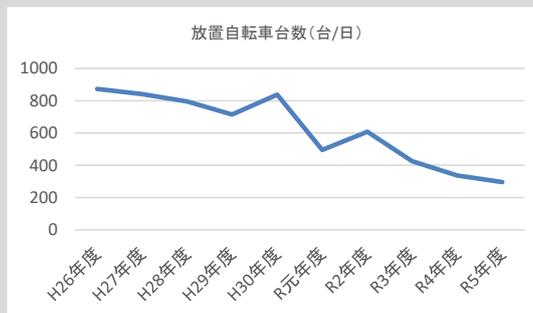
指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
1㎡当たりコスト(円)	21,957	21,919	22,264	20,382	
保管自転車の1台当たりコスト(円)	8,509	7,779	5,969	5,971	
備考	令和2年度及び令和3年度は、コロナ禍により撤去台数が少なかったため、保管自転車の1台当たりのコストが大きくなっている。				

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	放置台数(台)	470	450	350	350	
	実績値	608	425	337		
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	放置自転車撤去に不可欠な施設であり、必要性は非常に高い。					
現状・課題	○平成2年開設のため、建物や設備の計画的な修繕が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○建物等を点検し、不具合箇所が発生した場合は、適宜修繕していく。また、抜本的な解決策として、別の場所への移転についても検討していく。					
議会、利用者等からの意見						



放置自転車が減少傾向にあるため、撤去台数も減少している。(令和2・3年度の減少は、コロナ禍による自転車利用者の減少の影響)



駅周辺の放置自転車台数は減少傾向にあり、引き続き撤去等の対策を行っていく。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-03-03			
施設名	センターまちや自転車駐車場					
所在地	荒川七丁目50番9号					
部課名	防災都市づくり部土木管理課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成8年	768,822	50,000	-	718,822
	増改築①					
	増改築②					
併設施設	-					
竣工年月日	平成8年3月15日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成8年4月1日		職員数	0	15	
構造	SRC造		階層	地上22階地下2階のうち地下2階部分		
面積	敷地面積		マンション区分所有の地下部分のため敷地無 <sup>ア</sup>			
	延床面積		1,438 <sup>ア</sup> m <sup>2</sup>			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。					
関連部署	-					
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例					
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ		
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ		



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	センターまちや自転車駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取り消し及び施設の維持管理に関する業務を行う。 (定期利用定数1,089台 一時利用定数250台)					
対象者	自転車駐車場利用者等					
運営時間等	運営時間	午前4時30分から翌日の午前1時まで				
	休日	-				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	定期利用者数(人)	274,505	261,601	255,265	262,776	265,000
	一時利用者数(人)	45,363	54,316	63,631	74,181	75,000
	延べ利用者数(人)	319,868	315,917	318,896	336,957	340,000
	定数(台)	1,339	1,339	1,339	1,291	1,291
	定期利用率(%)	106	101	107	110	115
	一時利用率(%)	49	59	70	81	85
に指定管理 に係る費用	指定管理料(千円)	398	437	1,834	27,088	29,895
	指定管理者の支出合計(千円)	33,846	32,274	32,439	27,088	29,895
	指定管理者の人件費(千円)	18,696	12,773	11,141	12,956	14,336
	使用料収入(千円)	29,725	29,975	32,911	33,801	34,000
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

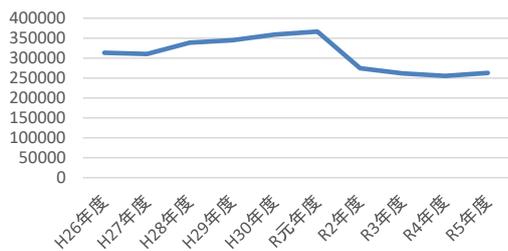
行政コスト計算書	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	1,834	30,717	28,883	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	18,258	20,916	2,658	使用料及び手数料	0	33,801	33,801
	減価償却費	14,078	14,078	0	その他	5,282	0	▲ 5,282
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	5,282	33,801	28,519
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 28,888	▲ 31,910	▲ 3,022
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	34,170	65,711	31,541	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 28,888	▲ 31,910	▲ 3,022
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 28,888	▲ 31,910	▲ 3,022
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	417,593	403,515	▲ 14,078	その他の流動負債	0	0	0
	土地	275,964	275,964	0	固定負債	0	0	0
	建物	491,091	491,091	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 358,005	▲ 371,265	▲ 13,260	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	12,218	12,218	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 3,674	▲ 4,493	▲ 819	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	417,593	403,515	▲ 14,078
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	417,593	403,515	▲ 14,078
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	417,593	403,515	▲ 14,078	
資産の部合計	417,593	403,515	▲ 14,078					
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。物件費(指定管理料)について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	66	69	72	74.7	
	1㎡当たりコスト(円)	23,423	25,186	23,762	45,696	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	55	40	34	47.8	
	1日当たりコスト(円)	92,279	99,225	93,616	180,030	
	利用者1人当たりコスト(円)	105	115	107	195	
	定数1台当たり年間コスト(円)	23,939	25,741	24,286	46,703	
	受益者負担率(%)	44	44.0	50.8	51.4	
備考	平成30年度は、管理組合費の増額及び指定管理者変更に伴う前受金により、行政コスト全体が増加している。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	年間利用者数(人)	445,000 実績値	392,000	330,000	340,000	340,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化	○ 他施設との統合	○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	地下鉄駅に直結しており、駅利用者のニーズは高い。					
現状・課題	<p>○令和5年4月、指定管理者が変更となった。</p> <p>○築20年以上経過しているため、計画的な改修・修繕が必要である。</p> <p>○子供乗せ自転車等の大型自転車の駐輪に対応していく必要がある。</p> <p>○令和4年度までは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかったため、令和5年度からは使用料金制に変更した。</p> <p>○令和5年度から、深夜や早朝の時間帯を無人とすることで、管理コストの削減を図っている。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○令和5年度から使用料金制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。</p> <p>○大型自転車の駐車スペースを増やすなど、弾力的な対応を行っていく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

定期利用者数(人)



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少した。以降は概ね横ばいとなっている。

一時利用者数(人)



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、一時利用者が減少したが、令和3年度から増加に転じている。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-03-04		
施設名	三河島駅前自転車駐車場				
所在地	西日暮里一丁目6番20号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成26年 356,178	国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日	平成26年 9月 26日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成26年 10月1日		職員数	0	7
構造	S造		階層	地下1階	
面積	敷地面積	874㎡ m <sup>2</sup>			
	延床面積	12㎡ (管理小屋床面積: 地下機械式駐輪場は床無)			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	三河島駅前自転車駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取り消し及び施設の維持管理に関する業務を行う。 (定期利用定数440台 一時利用定数46台)					
対象者	自転車駐車場利用者等					
運営時間等	運営時間	24時間営業(機械式駐輪場は午前4時30分から翌日の午前1時まで)				
	休日	無				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	定期利用者数(人)	23,023	25,323	35,612	41,310	42,000
	一時利用者数(人)	6,957	9,824	14,057	20,535	21,000
	延べ利用者数(人)	29,980	35,147	49,669	61,845	63,000
	定数(台)	440	440	440	486	486
	定期利用率(%)	44	40	51	40	45
	一時利用率(%)	18	26	35	122	122
に指定管理 に係る費用	指定管理料(千円)	2,250	1,021	844	15,388	18,033
	指定管理者の支出合計(千円)	19,210	16,526	18,555	15,388	18,033
	指定管理者の人件費(千円)	11,346	10,317	10,531	7,638	8,811
	使用料金収入(千円)	4,111	4,501	5,404	6,378	6,400
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	行政収入合計	行政収支差額			
	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	844	17,617	16,773	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	4,762	3,036	▲ 1,726	0	0	都支支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	273	298	25	0	0	使用料及び手数料	0	6,378	6,378	0	
	減価償却費	24,502	24,502	0	0	▲ 498	その他	498	0	▲ 498	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	498	行政収入合計(a)	498	6,378	5,880	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	▲ 33,004	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 33,004	▲ 39,075	▲ 6,071	0	
	その他行政費用	3,121	0	▲ 3,121	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	33,502	45,453	11,951	0	▲ 33,004	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 33,004	▲ 39,075	▲ 6,071	0	
	特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 33,004	▲ 39,075	▲ 6,071	0	
貸借対照表	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	263,984	239,482	▲ 24,502	0	賞与引当金	0	0	0	0	0
		土地	112,377	112,377	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0
		建物	12,656	12,656	0	0	固定負債	0	0	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 3,759	▲ 4,176	▲ 417	0	特別区債	0	0	0	0	0
		工作物等	359,471	359,471	0	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 216,761	▲ 240,846	▲ 24,085	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	263,984	239,482	▲ 24,502	263,984	239,482	▲ 24,502
その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	263,984	239,482	▲ 24,502	263,984	239,482	▲ 24,502	
資産の部合計	263,984	239,482	▲ 24,502	263,984	239,482	▲ 24,502	負債及び正味財産の部合計	263,984	239,482	▲ 24,502		
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。物件費(指定管理料)について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。											

指標	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
有形固定資産減価償却率(%)	46	53	59	65.8	
1㎡当たりコスト(円)	34,858	33,274	43,173	58,573	
人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	59	62	57	49.6	
1日当たりコスト(円)	74,110	70,742	91,786	124,529	
利用者1人当たりコスト(円)	902	735	675	735	
定数1台当たり年間コスト(円)	61,477	58,684	76,141	103,302	
受益者負担率(%)	9	11	10.6	14.0	
財務指標・評価指標等					
備考	他の自転車駐車場と比較して、利用者1人当たりコストや定数1台当たり年間コストが高い。				

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 43,000	実績値 29,980	34,500	37,000	53,000
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他( ) <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	三河島駅の至近にあり、駅利用者のニーズは高い。					
現状・課題	<p>○令和5年4月に指定管理者が変更となった。</p> <p>○定期利用専用の機械式駐輪場については、利用率が低く、健全な収支を実現することが求められている。</p> <p>○これまでは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかったため、令和5年度から使用料制に変更している。</p> <p>○令和5年度から、深夜や早期などの時間帯を無人とすることで、管理コストの縮減を図っている。</p> <p>○大型自転車や一時利用者の駐輪により、平置き場が定員を超えて利用されていたが、令和5年4月から一時利用専用の置場を新設し、駐車場運営の適正化を図った。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○経費の縮減策に加え、当面の活用策など、今後のあり方について検討していく。</p> <p>○令和5年度から使用料制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。</p>					
議会、利用者等からの意見	経費の縮減策に加え、当面の活用策など、今後のあり方について検討すること。					



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。また、働き方改革などの影響もあり、定期利用に比べ、増加が大きい。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-03		
施設名	荒川自然公園				
所在地	荒川八丁目25番3号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和47~49年	136,160		
	増改築①	昭和52~53年	306,580		
	増改築②	平成5~6年	937,300		
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日	昭和49年 4月26日		職員数	0	3
構造			階層		
面積	敷地面積	61,068㎡			
	延床面積	-㎡			
設置目的・経緯	周辺環境を改善するため、三河島処理場(現三河島水再生センター)を覆蓋して公園を整備。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	都市公園法 荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	委託	株式会社富士植木	期間	令和4年 4月1日	から	
				令和7年 3月31日	まで	
事業内容	維持管理、施設利用許可、利用案内、植栽管理、動物等管理、園内巡視、施設等保守管理、昇降機管理、修繕、備品管理、利用促進、腐葉土維持管理、ホタル観賞用施設設置・撤去					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前7時~午後5時(季節・区域において異なる)				
	休日	毎月第1・第3木曜日、年末年始(12月29日~翌年1月3日)				
施設基本データ等	交通園年間利用者数(人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	庭球場年間利用者数(人)	31,099	38,517	52,944	48,671	50,000
	野球場年間利用者数(人)	26,517	32,319	32,747	30,855	32,000
	年間団体利用件数(件)	2,966	4,337	4,243	3,591	4,000
		57	67	72	81	90
指定管理に係る費用						
備考	庭球場や野球場の運動施設の利用者数は、コロナ禍で減少傾向にあったが、徐々に回復している。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	
	行政コスト計算書	行政費用	行政収入				流動負債	固定負債	流動負債				
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0		
	物件費	85,415	89,206	3,791	0	0	国庫支出金	0	0	0	0		
	維持補修費	12,481	9,616	▲2,865	0	0	都支出金	0	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0		
	補助費等	790	1,256	466	10,458	11,848	使用料及び手数料	10,458	11,848	1,390	0		
	減価償却費	13,295	13,295	0	0	216	その他	0	216	216	0		
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	10,458	12,064	行政収入合計(a)	10,458	12,064	1,606	0		
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	▲101,523	▲114,255	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲101,523	▲114,255	▲12,732	0		
	その他行政費用	0	12,946	12,946	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0		
	行政費用合計(b)	111,981	126,319	14,338	▲101,523	▲114,255	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲101,523	▲114,255	▲12,732	0		
特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	▲101,523	▲114,255	▲12,732	当期収支差額(e)+(h)	▲101,523	▲114,255	▲12,732			
貸借対照表	流動資産	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	流動負債	R4年度	R5年度	差額
	収入未済	0	0	0	0	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	0	0	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	0	0	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	46,428	49,509	3,081	0	0	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	0	0	0	0	0	固定負債	0	0	0
	建物	215,909	215,909	0	0	0	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲186,698	▲196,007	▲9,309	0	0	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	861,798	878,174	16,376	0	0	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲844,582	▲848,567	▲3,985	0	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	正味財産	46,428	49,509	3,081	
建設仮勘定	0	0	0	0	0	0	0	0	正味財産の部合計	46,428	49,509	3,081	
その他の固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	46,428	49,509	3,081	
資産の部合計	46,428	49,509	3,081										
備考	行政費用の維持補修費は、徒渉池塗装工事等を計上している。 行政収入の使用料及び手数料は、庭球場及び野球場の使用料である。												



令和6年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S11-04-04		
施設名	その他公園				
所在地	33か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積	93,300 m <sup>2</sup>			
	延床面積	- m <sup>2</sup>			
設置目的・経緯	レクリエーションの空間の提供、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、防災機能の向上等を図る。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	都市公園法 荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	設置箇所数(累計)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	その他公園面積(合計)	34	34	33	33	33
	荒川公園展示場利用件数(件)	99,204	112,206	93,300	93,300	91,757
	公園利用満足度(5段階)	5	16	25	19	20
		4	4	4	-	-
に指定管理 に係る費用						
備考	令和5年度は、4月に日暮里公園の改修整備が完了しリニューアルオープンした。 令和4年度分から、宮前公園を「その他公園」から除き、単独でシートを作成したことにより、施設基本データの設置箇所数及び公園面積が減少している。					

III 財務諸表

(単位:千円)

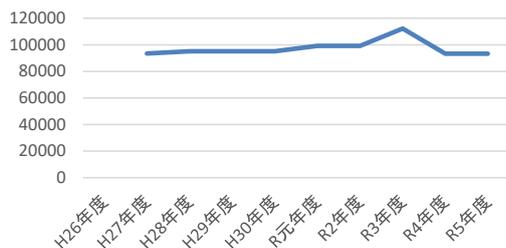
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	180,329	166,665	▲ 13,664	国庫支出金	0	7,524	7,524
	維持補修費	22,726	23,833	▲ 1,107	都支支出金	34,020	10,337	▲ 23,683
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	764	887	▲ 123	使用料及び手数料	14,354	14,564	▲ 210
	減価償却費	86,355	33,663	▲ 52,692	その他	0	247	247
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	48,374	32,672	▲ 15,702
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 419,234	▲ 327,937	91,297
	その他行政費用	177,434	135,561	▲ 41,873	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	467,608	360,609	▲ 106,999	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 419,234	▲ 327,937	91,297
	特別費用(g)	29,424	843	▲ 28,581	特別収入(f)	10,956	0	▲ 10,956
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 18,468	▲ 843	17,625	当期収支差額(e)+(h)	▲ 437,702	▲ 328,780	108,922	
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産				流動負債	0	0	0
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	27,289,988	20,720,309	▲ 6,569,679	その他の流動負債	0	0	0
	土地	25,902,391	20,181,395	▲ 5,720,996	固定負債	0	0	0
	建物	730,519	539,938	▲ 190,581	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 289,267	▲ 288,481	786	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	2,443,424	1,733,638	▲ 709,786	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,497,079	▲ 1,446,181	50,898	負債の部合計	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	正味財産	27,297,438	20,727,759	▲ 6,569,679	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	27,297,438	20,727,759	▲ 6,569,679	
その他の固定資産	7,450	7,450	0	負債及び正味財産の部合計	27,297,438	20,727,759	▲ 6,569,679	
資産の部合計	27,297,438	20,727,759	▲ 6,569,679					
備考	行政費用の物件費は、主に公園の維持管理業務委託に係る費用である。 令和5年度分から、宮前公園を「その他公園」から除き、単独での計上を始めたことにより、「その他公園」の行政費用合計が減少している。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	64	55	56	76.3	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	4,474	5,278	5,012	3,865	
	区民1人当たり年間コスト(円)	2,082	2,778	2,193	1,691	
	1日当たりコスト(円)	1,215,912	1,622,652	1,281,118	987,970	
	1か所当たり年間コスト(円)	13,053,176	17,419,647	13,753,176	10,606,147	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	55 実績値 43	55 45	55 45	55 45	55 45
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	憩い、運動、遊び、グループワーク、イベントなど多様な活用ができるためニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている区民一人当たりの公園等面積3.0㎡を目指し、公園の拡充を図っているが目標達成のためには、さらに整備を進める必要がある。 ○ボール遊びができる施設へのニーズが高いほか、ドッグラン、グラウンドゴルフ場、プレイパーク。水遊び施設、日除けなど、公園内における多様な施設整備についても要望が寄せられている。 ○キッチンカーの出店、花火の使用など、多様な使いかたを求める声が上がっている。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○トイレのバリアフリー化について検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○ボール遊び場などの各種施設について、リニューアルや新設の機会を捉えて設置を検討する。 ○キッチンカーの出店及び親子花火広場の開設について、試行実施する。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設から計画的に更新していく。 ○トイレのバリアフリー化は国費等の財源を活用しながら計画的に実施していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成29年度2月会議 公園等のオープンスペースの活用促進について ○令和2年2月建設環境 公衆・公園トイレの整備方針について ○令和3年度11月会議 公園の利用方法・利用ルールについて ○令和4年度2月会議 遊具の修繕及びボール遊びができる公園の充実について					

その他公園面積(合計)



都市計画公園整備事業の進捗に伴い、公園面積の拡充が図れている。(令和4年度は宮前公園を除いたことにより、減少している)

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-05		
施設名	児童遊園				
所在地	70か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積				31,511 m <sup>2</sup>
	延床面積				- m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	児童に健全な遊び場を提供し、その健康を増進するとともに情操を豊かにする。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等	都市公園法				
設置条例	荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等	設置箇所数(累計)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	児童遊園面積(合計)	71	70	70	70	70
		33,454	31,606	31,399	31,510	31,510
に指定に係る費用等						
備考	都市計画公園事業(宮前公園)の整備に伴い、令和元年度に児童遊園1箇所(宮前第二児童遊園)と令和3年度に児童遊園1箇所(宮前児童遊園)を廃止した。また、令和4年度は東尾久三丁目児童遊園の場所変更に伴い、既存施設を全て撤去したことから、合計面積が減少したが、令和5年度に、同児童遊園が開園し、合計面積は増加した。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	54,462	53,256	▲1,206	国庫支出金	0	12,170	12,170
	維持補修費	19,923	16,390	▲3,533	都支支出金	410	6,085	5,675
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,560	1,518	▲42	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	19,967	19,190	▲777	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	410	18,255	17,845
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲106,604	▲103,322	3,282
	その他行政費用	11,102	31,223	20,121	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	107,014	121,577	14,563	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲106,604	▲103,322	3,282
	特別費用(g)	4	0	▲4	特別収入(f)	4	0	▲4
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲106,604	▲103,322	3,282	
貸借対照表	流動資産				勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	5,813,128	5,829,919	16,791	賞与引当金	0	0	0
	土地	5,691,084	5,691,160	76	その他の流動負債	0	0	0
	建物	61,148	73,270	12,122	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲34,330	▲35,545	▲1,215	特別区債	0	0	0
	工作物等	820,080	843,863	23,783	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲724,853	▲742,829	▲17,976	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	5,813,128	5,829,919	16,791	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	5,813,128	5,829,919	16,791	
資産の部合計	5,813,128	5,829,919	16,791	負債及び正味財産の部合計	5,813,128	5,829,919	16,791	
備考	児童遊園に職員が直接勤務していないことから、給与関係費等は計上されない。行政費用の物件費は、電気代等光熱費の上昇により増加した。補助費等は公園連絡員の報償費である。また、その他行政費用は、児童遊園の複合遊具改修に係る費用である。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	84	85	86	84.9	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	3,158	2,749	3,408	3,858	
	区民1人当たり年間コスト(円)	496	408	502	570	
	1日当たりコスト(円)	289,455	238,033	293,189	333,088	
	1か所当たり年間コスト(円)	1,488,042	1,241,171	1,528,771	1,736,814	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	公園・児童遊園面積(ha)	55 実績値 43	55 45	55 45	55 45	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	憩い、運動、遊び、グループワーク、イベントなど多様な活用ができるためニーズが高い。					
現状・課題	○「荒川区花と緑の基本計画」で掲げている区民一人当たりの公園等面積3.0㎡を目指し、児童遊園面積の拡充を図っているが目標達成のためには、さらに整備を進める必要がある。 ○老朽化した施設について、機能回復及び安全性の確保を図る必要がある。 ○トイレのバリアフリー化について検討する必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○整備目標達成に向けて、都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点をもって、地域バランスを考慮しつつ、更なる用地の確保に努める。 ○施設の定期点検に基づき、緊急性や重要性の高い施設を計画的に更新していく。 ○トイレのバリアフリー化は国費等の財源を活用しながら計画的に実施していく。					
議会、利用者等からの意見	○平成28年9月決特 公衆・公園トイレの改修について ○平成29年2月予特 児童遊園の多機能型トイレについて ○令和元年6月会議 児童遊園総点検について ○令和3年度11月会議 公園の利用方法・利用ルールについて					



都市計画公園の整備に伴う児童遊園の統廃合等により、箇所数は減少している。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-06		
施設名	グリーンスポット等				
所在地	26か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積			12,262	m <sup>2</sup>
	延床面積			-	m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	公園や児童遊園を補完するとともに、身近な居住環境の向上を図る。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	地方自治法				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	園内の清掃、樹木の剪定、遊具の安全点検及び修繕、電気施設の保守、その他施設の維持					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-				
	休日	-				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	グリーンスポット設置箇所数(累計)	15	15	15	15	15
	広場・緑地設置箇所数(累計)	11	11	11	11	11
に指定管理に係る費用等						
備考	令和4年度に西尾久六丁目グリーンスポット及び荒川二丁目グリーンスポットの隣接地を買収し拡張整備を実施している。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

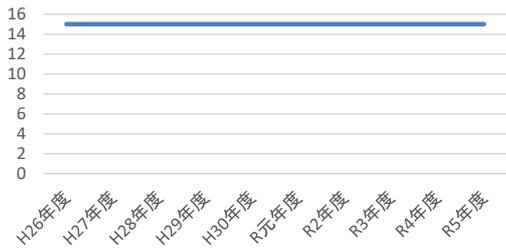
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	20,895	20,176	▲ 719	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	371	0	▲ 371	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	72	72	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	11,081	10,647	▲ 434	その他	0	0	0
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 55,802	▲ 30,895	24,907
	その他行政費用	23,455	0	▲ 23,455	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	55,802	30,895	▲ 24,907	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 55,802	▲ 30,895	24,907
	特別費用(g)	5,181	0	▲ 5,181	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 5,181	0	5,181	当期収支差額(e)+(h)	▲ 60,983	▲ 30,895	30,088	
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	3,159,453	3,148,806	▲ 10,647	その他の流動負債	0	0	0
	土地	3,060,901	3,060,901	0	固定負債	0	0	0
	建物	37,541	37,541	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 12,778	▲ 13,736	▲ 958	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	372,073	372,073	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 298,284	▲ 307,972	▲ 9,688	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	3,159,453	3,148,806	▲ 10,647
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	3,159,453	3,148,806	▲ 10,647	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	3,159,453	3,148,806	▲ 10,647	
資産の部合計	3,159,453	3,148,806	▲ 10,647					
備考	・グリーンスポット等に職員が直接勤務していないことから、給与関係費等は計上されない。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	72	75	76	78.5	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	2,076	1,716	4,551	2,520	
	区民1人当たり年間コスト(円)	170	140	262	145	
	1日当たりコスト(円)	99,186	81,959	152,882	84,644	
	1か所当たり年間コスト(円)	1,392,423	1,150,577	2,146,231	1,188,269	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

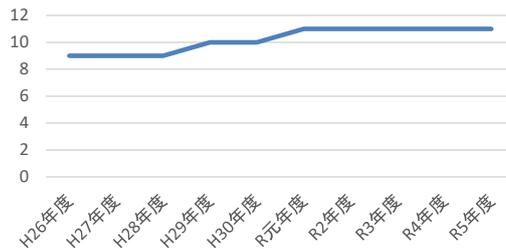
計画の有無	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
		目標値	-	-	-	-
		実績値	-	-	-	-
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> その他( )					
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	憩いの場所としてニーズは高い。					
現状・課題	○一部のグリーンスポットにおいては、区との協定に基づき、町会が維持・管理を行っている。					
課題に対する現時点での考え	○現在、委託により維持・管理を行っているグリーンスポットについても、区民との協働による維持・管理について検討していく。					
議会、利用者等からの意見						

グリーンスポット設置箇所数(累計)



近年、密集エリア内の小規模なオープンスペースは、防災スポットとして整備されており、グリーンスポット設置箇所数は変化していない。

広場・緑地設置箇所数(累計)



平成28年度：ゆいの森あいさつ広場設置  
平成30年度：真土おもいで広場設置

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-08		
施設名	宮前公園				
所在地	東尾久八丁目45番22号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成28年	32,060		
	増改築①	平成30~令和2年	938,838		
増改築②	令和3年	553,449			
併設施設	尾久図書館				
竣工年月日	令和4年3月10日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成28年11月1日		職員数	0	17
構造			階層		
面積	敷地面積	25,431 m <sup>2</sup>			
	延床面積	- m <sup>2</sup>			
設置目的・経緯	東尾久地区での憩いの場の確保及び防災性の向上を図るため、令和3年度に第一期、令和4年度に第二期を開園した。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等	都市公園法				
設置条例	荒川区立公園条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	有	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	委託	日本体育施設株式会社東京支店	期間	令和4年4月1日 令和7年3月31日	から まで	
事業内容	維持管理、施設利用許可、利用案内、植栽管理（宮前公園及び尾久図書館）、園内巡回、施設等保守管理、修繕、備品管理、利用促進					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	24時間(管理事務所：午前8時30分から午後5時15分)				
	休日	なし				
施設基本データ等	庭球場年間利用者数(人)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
		-	-	10,905	12,817	13,000
指定管理に係る費用						
備考	開園から3年経ち、ガーデンの植栽も充実してきたので、今後さらに来園者の増加が見込まれる。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	87,601	81,158	▲ 6,443	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	1,061	344	▲ 717	0	6,047	都支支出金	0	6,047	6,047	6,047	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	3	34	31	0	3,359	使用料及び手数料	3,359	5,660	2,301	2,301	
	減価償却費	0	55,325	55,325	0	0	その他	0	88	88	88	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	3,359	行政収入合計(a)	3,359	11,795	8,436	8,436	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	▲ 85,306	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 85,306	▲ 156,643	▲ 71,337	▲ 71,337	
	その他行政費用	0	31,577	31,577	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	88,665	168,438	79,773	0	▲ 85,306	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 85,306	▲ 156,643	▲ 71,337	▲ 71,337	
	特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	▲ 85,306	当期収支差額(e)+(h)	▲ 85,306	▲ 156,643	▲ 71,337	▲ 71,337	
貸借対照表	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	0	還付未済金	0	0	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	0	特別区債	0	0	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	0	12,757,157	12,757,157	0	賞与引当金	0	0	0	0	0
		土地	0	11,944,236	11,944,236	0	その他の流動負債	0	0	0	0	0
		建物	0	191,818	191,818	0	固定負債	0	0	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	▲ 21,368	▲ 21,368	0	特別区債	0	0	0	0	0
		工作物等	0	757,518	757,518	0	退職給与引当金	0	0	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	0	▲ 115,046	▲ 115,046	0	その他の固定負債	0	0	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0	0
建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	0	12,757,157	12,757,157	12,757,157	12,757,157		
その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	0	12,757,157	12,757,157	12,757,157	12,757,157		
資産の部合計	0	12,757,157	12,757,157	12,757,157	負債及び正味財産の部合計	0	12,757,157	12,757,157	12,757,157	12,757,157		
備考	令和5年度の行政収入の使用料及び手数料は、公園占用料(272千円)、公園施設使用料庭球場(2,550千円)、自動販売機使用料(1,672千円)及びひぐらしペーカリー(1,166千円)の使用料である。貸借対照表については、令和5年度から宮前公園に係る数値を単独で計上している。											

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	14.4	
	管理面積1㎡当たり年間コスト(円)	-	-	3,486	6,623	
	区民1人当たり年間コスト(円)	-	-	416	790	
	1日当たりコスト(円)	-	-	242,918	461,474	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 ● 現状維持	民営化	他施設との統合	廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	東尾久地区における新たな行楽・憩いの場として、幅広い年齢層の方々に利用されている。					
現状・課題	<p>○管理業務委託により、四季折々の花が咲く花壇や芝生広場が適切に維持管理されており、集客に寄与している。</p> <p>○年間を通して様々なイベントを行うことで認知度の向上及び利用促進が図られている。</p> <p>○芝生広場の一部をボール遊びができる部分を開放しているため、利用者に喜ばれているが、一方で踏みつぶされる芝生の劣化が早く、芝生管理に苦慮している。また、場所や時間を守らず利用する者、小型のゴールを持ち込み、本格的なサッカーをプレイする者もあり、他の利用者から苦情が寄せられている。</p> <p>○樹木が少なく、日差しを遮る日陰が少ないとの陳情が寄せられている。</p> <p>○地域や公園利用者にとって、さらに使いやすい公園となるよう、管理方法や区のかかわり方を考える必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○公園管理の経験が豊富な業者が管理業務を担っており、適切な管理ができています。今後は、公園の管理運営に官民連携の仕組みを取り入れることについても検討していく。</p> <p>○ボール遊びエリアの運用方法について、地域住民や町会、利用者等の声を聞きながら、検討する。</p> <p>○パーゴラ等の追加設置、高木の植栽等、日陰をつくる方策について検討する。</p>					
議会、利用者等からの意見	<p>令和5年6月30日 建設環境委員会 相馬委員 日陰が少ない</p> <p>令和6年10月18日 文教・子育て支援委員会 斎藤泰紀委員 樹木が全くない</p>					

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-02		
施設名	橋梁				
所在地	8か所				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築		国・都	区債	一般財源
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積				m <sup>2</sup>
	延床面積				m <sup>2</sup>
設置目的・経緯	人の移動や物資の輸送のための施設として架橋している。				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	道路法 荒川区管理通路条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	●点字ブロック	○スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-			期間	-	から
事業内容	道路橋：第二日暮里跨線道路橋（昭和41年架橋）、下御隠殿坂跨線道路橋（平成7年架橋） 人道橋：紅葉坂跨線人道橋（昭和3年架橋）、ペDESTリアンデッキ3・4号（平成20年架橋）、 ペDESTリアンデッキ5号（平成20年架橋）、ペDESTリアンデッキ6号（平成20年架橋） 溝橋：南千住二丁目ガード（平成7年架橋）、南千住駅連絡ガード（平成19年架橋）						
対象者	一般区民他						
運営時間等	運営時間	-					
	休日	-					
施設基本データ等	道路橋箇所数（累計）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度（見込み）	
	人道橋箇所数（累計）	2	2	2	2	2	2
	溝橋箇所数（累計）	4	4	4	4	4	4
		2	2	2	2	2	2
に指定 に係る 費用 等 管理 費							
備考	溝橋（ボックスカルバート）については、橋梁として取り扱う。						

**III 財務諸表**

(単位:千円)

		勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
		物件費	1,867	1,781	▲86	国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	3,770	0	▲3,770	都支支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0
		減価償却費	65,751	65,751	0	その他	0	0	0
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲71,388	▲67,532	3,856
		その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
		行政費用合計(b)	71,388	67,532	▲3,856	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲71,388	▲67,532	3,856
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲71,388	▲67,532	3,856
貸借対照表	固定資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
		有形固定資産	2,082,597	2,016,846	▲65,751	賞与引当金	0	0	0
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
		工作物等	3,891,693	3,891,693	0	退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲1,809,097	▲1,874,848	▲65,751	その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
		建設仮勘定	83,315	83,315	0	正味財産	2,165,912	2,100,161	▲65,751
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	2,165,912	2,100,161	▲65,751
資産の部合計	2,165,912	2,100,161	▲65,751	負債及び正味財産の部合計	2,165,912	2,100,161	▲65,751		
備考	行政費用の物件費は、紅葉橋の清掃委託やエレベータの保守管理委託等に係る費用である。 行政費用の維持補修費は、維持補修のための委託費、工事請負費、原材料費を計上している。								

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	43	45	47	48.2	
	区民1人当たり年間コスト(円)	532	318	335	317	
	1日当たりコスト(円)	310,989	185,781	195,584	185,019	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 (計画名: 荒川区橋梁長寿命化修繕計画)					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	橋梁点検・調査数	2	0	0	0	0
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他( )	<input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止			
管理形態の変更の推移	<input type="radio"/> 有 (変更内容: ) <input checked="" type="radio"/> 無					
利用者・地域のニーズ	基礎的なインフラであり、区民の生活に不可欠である。					
現状・課題	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・老朽化が進み、バリアフリー化にも対応していないため、令和2年度と3年度にエレベータやエスカレーターの設置に向け調査、検討を行った結果、道路線形の大幅な見直しが必要なこと、地下埋設物が支障となることなど、多くの課題が判明した。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・老朽化及び、それに伴う維持管理費の増大に対応する必要がある。 ・跨線橋は、鉄道営業線上空を跨いでおり、補修工事に莫大な経費と期間が必要となる。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 紅葉坂跨線人道橋 ・バリアフリー化に向け、引き続き検討を進めるとともに、鉄道事業者等と協議を行っていく。 <input type="radio"/> 橋梁全般 ・従来の事後保全型の維持管理から、予防保全型の維持管理へ転換を図る。 ・跨線道路橋については、鉄道事業者と十分に協議を行い、計画的な補修を検討していく。 ・橋梁長寿命化を図るため、道路法に基づく橋梁定期点検・調査を実施していく。					
議会、利用者等からの意見	<input type="radio"/> 平成28年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋の整備について <input type="radio"/> 平成30年度2月会議 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について <input type="radio"/> 令和元年決特 紅葉坂跨線人道橋のバリアフリー化について <input type="radio"/> 令和3年度6月会議 日暮里駅周辺の整備について					

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-04-01		
施設名	道路				
所在地	1.068路線				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築				
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日			区職員	その他	
供用開始年月日			職員数		
構造			階層		
面積	敷地面積		1,260,564 m <sup>2</sup>		
	延床面積		-		
設置目的・経緯	区道は、区民の生活や経済活動に不可欠なインフラであるため、誰もがいつでも安全に利用できる状態を維持する必要がある				
関連部署	防災都市づくり部基盤整備課				
根拠法令等 設置条例	道路法 荒川区管理通路条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	直営	-	期間	-	から	
事業内容	・特別区道および管理通路の維持管理					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	-		-	から	
	休日	-		-	まで	
施設基本データ等	無電柱化整備延長 (m)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	特別区道延長 (m)	10,537	10,537	10,537	10,537	10,957
	管理通路延長 (m)	197,935	197,935	197,935	197,935	197,962
	特別区道 (路線数)	7,898	7,898	7,898	7,898	7,786
	管理通路 (路線数)	988	973	973	973	975
	管理通路 (路線数)	95	95	95	95	93
に指定管理に係る費用等						
備考	昭和28年に東京都から区に移管された時点において、すでに道路としての実態のない特別区道を令和3年度2月会議にて廃止した。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

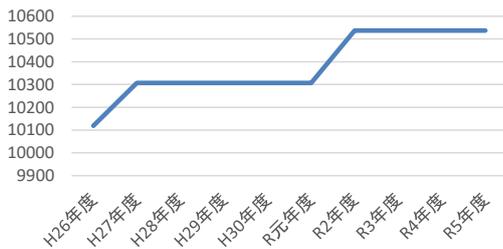
勘定科目		R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	486,994	318,793	▲ 168,201	国庫支出金	6,175	5,500	▲ 675
	維持補修費	344,014	365,957	▲ 21,943	都支支出金	59,282	19,980	▲ 39,302
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	884,446	883,461	▲ 985
	減価償却費	78,518	79,904	1,386	その他	94,525	109,095	14,570
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,044,428	1,018,036	▲ 26,392
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	45,056	40,434	▲ 4,622
	その他行政費用	89,846	212,948	123,102	金融収支差額(d)	▲ 753	▲ 686	67
	行政費用合計(b)	999,372	977,602	▲ 21,770	通常収支差額(c)+(d)=(e)	44,303	39,748	▲ 4,555
	特別費用(g)	2,538	218	▲ 2,320	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲ 2,538	▲ 218	2,320	当期収支差額(e)+(h)	41,765	39,530	▲ 2,235	
貸借対照表	勘定科目	R4年度	R5年度	差額	勘定科目	R4年度	R5年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	277	0	▲ 277	還付未済金	6,395	6,454	59
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	6,395	6,454	59
	有形固定資産	187,515,804	187,845,554	329,750	賞与引当金	0	0	0
	土地	175,437,243	175,499,296	62,053	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	70,103	63,649	▲ 6,454
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	70,103	63,649	▲ 6,454
	工作物等	13,259,254	13,606,853	347,599	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 1,180,692	▲ 1,260,596	▲ 79,904	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	76,498	70,103	▲ 6,395	
建設仮勘定	281,915	359,228	77,313	正味財産	187,721,498	188,134,679	413,181	
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	187,721,498	188,134,679	413,181	
資産の部合計	187,797,996	188,204,782	406,786	負債及び正味財産の部合計	187,797,996	188,204,782	406,786	
備考	行政収入の使用料及び手数料については道路占用料、その他については掘削道路復旧費等を計上している。 行政費用の物件費は、本来道路に計上すべき業務委託費を計上しなかったため、減少している。 行政費用のその他行政費用は、細街路拡幅整備工事等の投資的経費が増えたことにより、増加している。							

指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	8	9	9	9.3	
	管理面積1m当たり年間コスト(円)	725	757	793	776	
	区民1人当たり年間コスト(円)	4,283	4,477	4,687	4,585	
	1日当たりコスト(円)	2,502,049	2,614,978	2,738,005	2,678,362	
	区道1m当たりコスト(円)	4,437	4,637	4,855	4,749	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

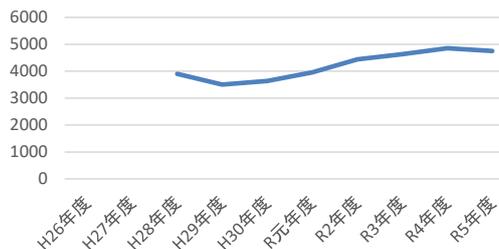
計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )						
目標指標	指標名・単位	目標値	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	道路延長(m)	実績値	197,935	197,935	197,935	197,935	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )						
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無						
利用者・地域のニーズ	区民の生活に欠かすことのできない極めて基礎的なインフラである。						
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期的に点検を実施し、損傷や陥没等の早期発見に努めていく必要がある。</li> <li>○路面下で発生している空洞が原因となり、道路陥没が発生することで、重大な事故に繋がる可能性があるほか、災害時には避難路としての機能や災害救援活動への影響が懸念される。</li> <li>○都市計画道路については、整備率58.1%で近年は変動のない状況となっている。</li> <li>○電柱が防災性や安全な通行、景観形成を阻害しているため、都市計画道路以外の路線についても、計画的に無電柱化を推進する必要がある。</li> <li>○区道においては、歩行者や自転車、自動車が混在する路線が多くあり、自転車が安全に走行できる空間を確保する必要がある。</li> <li>○樹木の根上がり等により段差が発生している箇所を是正し、バリアフリー化を徹底する必要がある。</li> </ul>						
課題に対する現時点での考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>○道路ストック総点検の成果を基に、引き続き計画的に補修を実施する。</li> <li>○路面下空洞調査の結果を踏まえ、空洞が疑われる箇所の改修を進める必要がある。</li> <li>○都市計画道路の整備については、現在事業中の3路線の早期完成を目指し取り組んでいく。</li> <li>○無電柱化推進計画に基づき、区道の無電柱化を計画的に進める。</li> <li>○「自転車ネットワーク計画」に基づき、自転車の走行空間の整備を計画的に進める。</li> <li>○老朽化が進んでいる樹木から優先的に植え替えを行う。</li> </ul>						
議会、利用者等からの意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○令和2年度2月 自転車専用レーンの整備について</li> <li>○令和3年度11月 都市計画道路、主要生活道路等のインフラ整備について</li> <li>○令和3年度2月 防災減災のための無電柱化のスピードアップについて</li> <li>○令和4年度11月 無電柱化の推進について</li> </ul>						

無電柱化整備延長(m)



無電柱化推進計画に基づき整備を進めており、着実に延長を伸ばしている。

区道1m当たりコスト(円)



区道1m当たりの管理コストは、増加傾向にある。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-03-02		
施設名	南千住駅東口自転車等駐車場				
所在地	南千住四丁目1番2号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成14年	418,064	192,000	226,064
	増改築①				
	増改築②				
併設施設	-				
竣工年月日	平成14年3月15日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成14年 4月 1日		職員数	0	9
構造	S造		階層	地上3階地下1階	
面積	敷地面積	922㎡			
	延床面積	2,247㎡			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例 荒川区自転車等駐車場条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	●スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	南千住駅自転車等駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取り消し及び施設の維持管理に関する業務を行う。 (自転車定期1,299台 自転車一時100台 原付定期20台 原付一時5台)					
対象者	自転車等駐車場利用者					
運営時間等	運営時間	24時間営業				
	休日	-				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	定期利用者数(人)	233,943	249,719	277,707	289,176	290,000
	一時利用者数(人)	18,937	25,549	34,129	37,228	38,000
	延べ利用者数(人)	252,880	275,268	311,836	326,404	328,000
	定数(台)	1,470	1,470	1,443	1,399	1,399
	定期利用率(%)	97	89	97	100	105
	一時利用率(%)	34	47	64	100	105
に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	1,802	590	2,399	21,843	25,590
	指定管理者の支出合計(千円)	24,778	20,808	23,243	21,843	25,590
	指定管理者の人件費(千円)	13,249	10,841	9,507	10,330	11,675
	使用料収入(千円)	25,833	25,771	28,467	29,066	30,000
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

**III 財務諸表**

(単位:千円)

	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	2,453	26,704	24,251	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	0	0	都支支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	使用料及び手数料	0	29,066	29,066	0	
	減価償却費	14,553	14,553	0	0	0	その他	6,073	0	▲6,073	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収入合計(a)	6,073	29,066	22,993	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲10,933	▲12,191	▲1,258	0	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	17,006	41,257	24,251	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲10,933	▲12,191	▲1,258	0	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲10,933	▲12,191	▲1,258	0		
貸借対照表	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	150,078	135,524	▲14,554	0	賞与引当金	0	0	0	0	
			土地	0	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0
			建物	0	0	0	0	固定負債	0	0	0	0
			建物減価償却累計額	0	0	0	0		特別区債	0	0	0
			工作物等	443,692	443,692	0	0		退職給与引当金	0	0	0
			工作物等減価償却累計額	▲293,614	▲308,167	▲14,553	0		その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0		
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	150,078	135,524	▲14,554	0		
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	150,078	135,524	▲14,554	0		
資産の部合計	150,078	135,524	▲14,554	0	0	負債及び正味財産の部合計	150,078	135,524	▲14,554	0		
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。物件費(指定管理料)について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。											

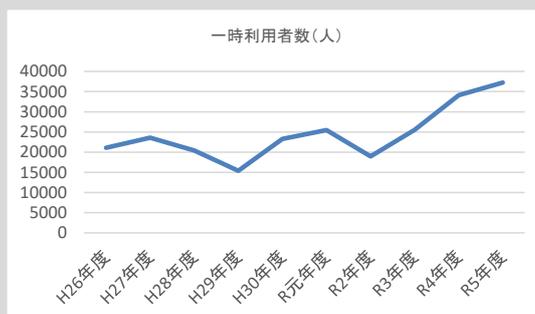
指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	60	63	66	69.5	
	1㎡当たりコスト(円)	7,302	7,301	7,568	18,361	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	54	52	41	47.3	
	1日当たりコスト(円)	44,953	44,948	46,592	113,033	
	利用者1人当たりコスト(円)	65	60	55	126	
	定数1台当たり年間コスト(円)	11,355	11,354	11,769	28,552	
	受益者負担率(%)	66	70	75.2	70.5	
備考						

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 366,000	326,000	286,000	325,000	328,000
		実績値 252,880	275,268	311,836	326,404	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	駅の近隣にあり、自転車利用者のニーズは高い。					
現状・課題	<p>○令和5年4月、指定管理者が変更となった。</p> <p>○一時利用は民営自転車駐輪場、定期利用は区駐輪場という傾向があり、補完関係にあるが、民営自転車駐輪場の利用率は高く、満車に近い状態となっている。</p> <p>○3階部分の利用率が低かったため、令和元年度から3階専用料金を導入している。</p> <p>○令和3年度から24時間営業としているが、深夜や早朝の時間帯を無人とすることで、管理コストの縮減を図っている。</p> <p>○令和4年度までは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかったため、令和5年度からは使用料金制に変更した。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○定期利用と一時利用のニーズを踏まえて、弾力的な対応を行っていく。</p> <p>○令和5年度から使用料金制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。</p>					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、以降は増加に転じている。また、働き方改革などの影響もあり、定期利用に比べ、増加が大きい。

令和6年度 施設分析シート

<b>I 施設の概要</b>		施設コード	S11-03-05		
施設名	日暮里駅前自転車駐車場				
所在地	西日暮里二丁目24番2号				
部課名	防災都市づくり部土木管理課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
	建築	平成20年	1,206,840	国・都	568,000
	増改築①			区債	641,840
	増改築②			一般財源	
併設施設	-				
竣工年月日	平成20年3月31日		区職員		その他
供用開始年月日	平成20年4月1日		職員数	0	9
構造	RC造		階層	地下1階	
面積	敷地面積	地下構造物のため敷地無			
	延床面積	1,706㎡			
設置目的・経緯	自転車等の利用者の利便を図り、区民の良好な生活環境の向上に資するため。				
関連部署	-				
根拠法令等 設置条例	荒川区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例 荒川区自転車等駐車場条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	○ トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



**II 管理運営の状況**

管理形態	指定管理	株式会社ソーリン	期間	令和5年4月1日 令和10年3月31日	から まで	
事業内容	日暮里駅前自転車駐車場の利用の承認・不承認、使用料の收受、還付、利用承認の取消し及び施設の維持管理に関する業務等を行う。 (定期利用定数758台 一時利用定数186台)					
対象者	自転車駐車場利用者等					
運営時間等	運営時間	午前4時30分～翌日の午前1時00分				
	休日	-				
施設基本データ等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度(見込み)
	定期利用者数(人)	81,867	92,863	84,396	90,444	91,000
	一時利用者数(人)	87,877	108,713	118,556	157,143	160,000
	延べ利用者数(人)	169,744	201,576	202,952	247,587	251,000
	定数(台)	944	944	944	944	944
	定期利用率(%)	58	56	54	57	60
	一時利用率(%)	135	160	175	231	235
に指定管理に係る費用	指定管理料(千円)	1,100	1,007	558	29,278	34,117
	指定管理者の支出合計(千円)	26,024	25,786	25,610	29,278	34,117
	指定管理者の人件費(千円)	13,991	13,941	14,079	14,302	18,794
	使用料収入(千円)	18,115	19,149	19,829	22,057	23,000
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。指定管理料について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。					

**III 財務諸表**

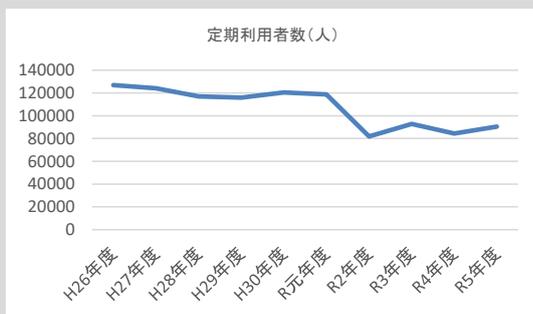
(単位:千円)

	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	行政コスト計算書	行政費用	特別費用				行政収入	特別収入	当期収支差額			
行政コスト計算書	給与関係費	0	0	0	0	0	地方税等	0	0	0	0	
	物件費	3,782	39,425	35,643	0	0	国庫支出金	0	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	0	0	都支出金	0	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	0	0	使用料及び手数料	0	22,057	22,057	0	
	減価償却費	32,585	32,585	0	0	0	その他	1,866	0	▲1,866	0	
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収入合計(a)	1,866	22,057	20,191	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲34,501	▲49,953	▲15,452	0	
	その他行政費用	0	0	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	0	
	行政費用合計(b)	36,367	72,010	35,643	0	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲34,501	▲49,953	▲15,452	0	
特別費用(g)	0	0	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲34,501	▲49,953	▲15,452	0		
貸借対照表	勘定科目			R4年度	R5年度	差額	勘定科目			R4年度	R5年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	0	流動負債	0	0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	718,070	685,485	▲32,585	0	賞与引当金	0	0	0	0	
			土地	0	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	0
			建物	0	0	0	0	固定負債	0	0	0	0
			建物減価償却累計額	0	0	0	0		特別区債	0	0	0
			工作物等	1,206,840	1,206,840	0	0		退職給与引当金	0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲488,770	▲521,355	▲32,585	0	その他の固定負債	0	0	0	0	
	無形固定資産	0	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	0		
	建設仮勘定	0	0	0	0	正味財産	718,070	685,485	▲32,585	0		
	その他の固定資産	0	0	0	0	正味財産の部合計	718,070	685,485	▲32,585	0		
資産の部合計	718,070	685,485	▲32,585	0	負債及び正味財産の部合計	718,070	685,485	▲32,585	0			
備考	使用料収入について、令和4年度までは利用料金制のため、事業者の収入となっており、令和5年度以降は使用料制のため、区の収入となっている。物件費(指定管理料)について、令和4年度までは修繕費のみ支出しており、令和5年度以降は使用料制のため、修繕費に加えて人件費、管理運営費も支出している。											

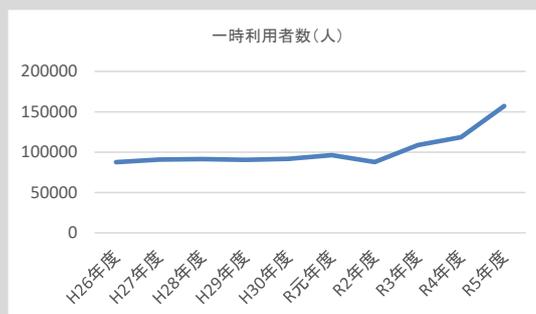
指標		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	35	38	41	43.2	
	1㎡当たりコスト(円)	21,635	22,335	21,317	42,210	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	54	54	55.0	48.8	
	1日当たりコスト(円)	101,121	104,392	99,636	197,288	
	利用者1人当たりコスト(円)	217	189	179	291	
	定数1台当たり年間コスト(円)	31,818	32,847	31,351	62,078	
	受益者負担率(%)	29	31	32.3	30.6	
備考	大型自転車への対応をするため、定数を減らした影響もあり、定数1台当たりの年間コストは増加している。					

#### IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: )					
目標指標	指標名・単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度(見込み)
	年間利用者数(人)	目標値 220,000	190,000	210,000	220,000	251,000
		実績値 169,744	201,576	202,952	247,587	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他( )					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容: ) ● 無					
利用者・地域のニーズ	駅や商業施設に隣接しており、駅利用者、買い物客等のニーズが高い。					
現状・課題	○令和5年4月、指定管理者が変更となった。 ○定期利用の利用率が低く、健全な収支を実現することが求められている。 ○これまでは利用料金制で運営してきたが、収支状況が良くなかったため、令和5年度からは使用料制に変更した。 ○一時利用が定員を超えて利用される状況が発生しているため、一時ラックの台数について、適正化を検討していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○駅周辺の放置自転車対策の強化や駐輪場利用に関する周知活動の強化等により、利用者の増加を図っていく。 ○令和5年度から使用料制に変更したことで、事業者の負担軽減を図り、安定した駐車場の運営体制に変更した。 ○令和5年4月から日暮里駅周辺の放置禁止区域を拡大した影響も考慮し、適正台数を考慮した上、一時ラックの増設を検討中。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少し、以降は概ね横ばいとなっている。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少したが、令和3年度から増加に転じている。定期利用に比べて一時利用のニーズが伸びている。